

博物館学関係の基本資料

このリストに掲載されている資料は、授業期間中は**人文科学図書館 ラーニングコモンズ**で利用できます。(一部他館にしか所蔵がないものもあります)

実際に読んだもの／利用したものにはチェックをつけましょう。

博物館学の概説

- 博物館の理論と教育 / 浜田弘明総編集 (シリーズ現代博物館学;1) 朝倉書店 2014

現在の学芸員養成課程に対応した博物館学の教科書。シリーズ1冊目は、博物館の定義や学芸員の社会的役割など、基本的事項を押さえることができます。

[他に 人間科学図書館開架室 069.0-30//1]

- 博物館の仕事 / 8人の学芸員著 岩田書院 2008

博物館が保有する「資料」について学ぶのが博物館資料論です。博物館の様々な活動を紹介する本書を読むと、博物館が資料を軸に成り立っているのが良く分かります。

[他に 国際文化学図書館開架室 069-0-H など]

- 美術館へ行こう / 草薙奈津子著 岩波書店 2013

美術作品を扱う美術館は、日本では博物館と分けて扱われる場合も少なくありません。美術館へと誘う本書は、博物館で日々行われる、「資料」をめぐる業務の具体的な内容を教えてください。『キュレーション 知と感性を揺さぶる力』(集英社新書)も参考になります。

[他に 国際文化学図書館開架室 081-6-11//737]

- 博物館が好き!: 学芸員が伝えたいこと 教育出版センター 2007

博物館の多岐にわたる活動内容を、あつめる、みせる、ひろげる、といったテーマごとに学芸員自身がコンパクトに紹介。博物館や資料への熱い思いが伝わってきます。

[人文科学図書館KULiP(ラーニングコモンズ) 069-021-HAK]

- 博物館へ行こう / 木下史青著 岩波書店 2007

博物館の展示デザイナーが自ら語る、博物館の魅力。記念撮影したくなる展示風景を目指して日夜努力する筆者が、展覧会ができるまでの過程や、進化を続ける国内外の博物館の様子を紹介しています。読み易い博物館入門。

[他に 国際文化学図書館開架室 081-6-11//571]

- 地域に生きる博物館 / 徳島博物館研究会編 教育出版センター 2002

地域の博物館が、実際にどう地域や市民と関わっていくのか。現場の日々の苦悩を紹介しながら、現場へと問いかけるメッセージ。

[人文科学図書館KULiP(ラーニングコモンズ) 069-021-TII]

大学生のための博物館学芸員入門 / 真家和生 [ほか] 編著 技報堂出版 2014

博物館等で働く際に必要な「学芸員資格」。この学芸員資格取得を志す大学生に向け、博物館の概要や業務などを概説。要取得9科目に対応した内容構成となっているのも特徴。

[他に 国際文化学図書館開架室 069-0-M]

新時代の博物館学 / 全国大学博物館学講座協議会西日本部会編 芙蓉書房出版 2012

近年の博物館法の改正により、学芸員資格の取得には、博物館の役割をより細かな科目単位で学び、知識を得るのが求められています。新時代の博物館学を知る一冊。類書に『新編博物館概論』(同成社)。

[他に 国際文化学図書館開架室 069-0-Z]

博物館概論*博物館資料論 / 大堀哲, 水嶋英治編著 (新博物館学教科書: 博物館学; 1) 学文社 2012

博物館法の改訂にあわせ、学芸員課程の学習に必要な項目を解説した教科書です。

[他に 国際文化学図書館開架室 069-0-O//1]

博物館展示論; 博物館教育論 / 大堀哲, 水嶋英治編著 (新博物館学教科書: 博物館学; 2) 学文社 2012

博物館法の改訂にあわせ、学芸員課程の学習に必要な項目を解説した教科書です。

[他に 国際文化学図書館開架室 069-0-O//2]

博物館情報・メディア論*博物館経営論 / 大堀哲, 水嶋英治編著 (新博物館学教科書: 博物館学; 3) 学文社 2012

博物館法の改訂にあわせ、学芸員課程の学習に必要な項目を解説した教科書です。

[他に 国際文化学図書館開架室 069-0-O//3]

博物館資料保存論*博物館実習論 / 大堀哲, 水嶋英治編著 (新博物館学教科書: 博物館学; 4) 学文社 2013

博物館法の改訂にあわせ、学芸員課程の学習に必要な項目を解説した教科書です。

[他に 国際文化学図書館開架室 069-0-O//4]

博物館概論 / 吉田憲司編著 (放送大学教材) 放送大学教育振興会 2011

放送大学で放送されている、学芸員資格関連科目の教科書。

[他に 社会科学系図書館開架室 2011-3723]

博物館情報・メディア論 / 西岡貞一, 篠田謙一編著 (放送大学教材) 放送大学教育振興会 2013

放送大学で放送されている、学芸員資格関連科目の教科書。

[他に 社会科学系図書館開架室 2013-3732]

博物館経営論 / 佐々木亨, 亀井修編著 (放送大学教材) 放送大学教育振興会 2013

放送大学で放送されている、学芸員資格関連科目の教科書。

[他に 社会科学系図書館開架室 2013-3733]

博物館展示論 / 佐々木利和, 松原茂, 原田一敏編著 (放送大学教材) 放送大学教育振興会 2012

放送大学で放送されている、学芸員資格関連科目の教科書。

[他に 社会科学系図書館開架室 2012-3730]

博物館教育論 / 寺島洋子, 大高幸編著 (放送大学教材) 放送大学教育振興会 2012

放送大学で放送されている、学芸員資格関連科目の教科書。

[他に 社会科学系図書館開架室 2012-3731]

博物館資料論 / 佐々木利和, 湯山賢一編著 (放送大学教材) 放送大学教育振興会 2012

放送大学で放送されている、学芸員資格関連科目の教科書。

[他に 社会科学系図書館開架室 2012-3728]

文化財学の構想 / 三輪嘉六編 勉誠出版 2003

和紙・彫刻・建築・近代遺産など多岐にわたる文化財を、私たちはどう保存し、また活用していくべきか。シンポジウム報告を基に、学問としての「文化財学」確立を目指しています。

[人文科学図書館KULiP(ラーニングコモンズ) 709-1-BUN]

博物館学事典 / 全日本博物館学会編 雄山閣 2011

博物館学の諸事項について網羅的に解説する事典。博物館・博物館学に関する学芸員や研究者たちによる全国的な学会が中心となり、2008年の博物館法改正も受けて編集。

[人文科学図書館KULiP(ラーニングコモンズ) 069-033-HAK]

博物館学年表 : 法令を中心に : 1871→2012 / 椎名仙卓, 青柳邦忠著 雄山閣 2014

日本における博物館学の歴史的展開を、特に法令がどのように出来てきたかに着目し、年表形式でまとめたもの。解説も細かく、日本の博物館の歩みをうかがえます。なお文化財については『文化財保護法五十年史』(ぎょうせい,2001)他を参照。

[人文科学図書館KULiP(ラーニングコモンズ) 069-032-HAK]

学芸員の仕事 / 神奈川県博物館協会編 岩田書院 2005

学芸員の仕事は、多岐に渡ります。50館の現場からの声を集め、資料、展示、保存、普及など、活動内容で9章に分けて紹介する、博物館、学芸員の仕事ガイド。

[人文科学図書館KULiP(ラーニングコモンズ) 069-0-GAK]

博物館学ハンドブック / 高橋隆博, 森隆男, 米田文孝編著 関西大学出版部 2005

現在の博物館では多様な問題に対応できる高い意識と能力をもった学芸員が求められています。本書は図版も多いビジュアルな入門書となっています。

[他に 国際文化学図書館開架室(4F)大型図書 069-0-T]

- 博物館の新潮流と学芸員 / 浜田弘明著 御茶の水書房 2012
市民にとってより良い博物館活動を長年現場で模索してきた著者が、近年の学芸員や博物館学に関する各種論議を踏まえながら、これからの博物館の課題と展望を提示しています。
[他に 国際文化学図書館開架室 069-0-H]
- 博物館学：フランスの文化と戦略 / 西野嘉章著 東京大学出版会 1995
フランスの過去10年余りの動向から、ルーブルの改造計画、文化事業推進のドキュメントなどを検討し、日本の博物館の方向性を考えさせる本となっています。
[人文科学図書館KULIP(ラーニングコモンズ) 709-35-NIS]
- 博物館実習マニュアル / 全国大学博物館学講座協議会西日本部会編 芙蓉書房出版 2002
西日本で学芸員課程を開講している大学のスタッフや博物館関係者が作成した、博物館実習の実務に即したマニュアル。実習館園側にも、学生側にも役立つ一冊。
[他に 人間科学図書館開架室(展示) 069.0-28]
- 博物館学入門：地域博物館学の提唱 / 金山喜昭著 慶友社 2003
博物館の社会的役割を地域住民と共に考え、野田市で実践活動を続けてきた著者が語る、「人づくり」「まちづくり」も絡めたこれからの博物館像。
[人間科学図書館開架室 069.0-16B]
- 現代に生きる博物館 / 君塚仁彦, 名児耶明編 有斐閣 2012
学芸員として最低限身につけておきたい基礎理論や歴史、法制度、各種博物館の特徴、実際の仕事内容などを平易に解説。現場をイメージしながら学べるよう配慮されています。
[人間科学図書館開架室 069.0-26]
- KANSAI大学博物館ガイド / 大坪覚著 Pヴァイン・ブックス 2011
神戸大学もそうですが、多くの大学が今日、博物館施設を設けてコレクションや研究成果を公開しています。関西圏の大学博物館を紹介しているガイドブック。
[国際文化学図書館開架室 069-7-0]
- ミュージアムの思想 / 松宮秀治著 白水社 2009
西欧のミュージアムはコレクションを開示し、為政者の権威を示すなど、帝国主義や植民地主義とも深く関わってきました。西欧のミュージアムという思想がどのように生まれ、拡大発展してきたかを読み解いています。(旧版は人文、国際)
[人間科学図書館開架室 069.0-22A 069.0-22B]
- 美術館はどこへ? : ミュージアムの過去・現在・未来 / 暮沢剛巳著 廣済堂出版 2002
国民国家の成立と歩調をあわせて誕生した、近代ミュージアムの経緯を歴史的に解説。後半では ビエンナーレなどの国際展やメディアテークなど、時代を映す鏡としての美術館の姿を示す。「場所」「記憶」の問題として捉えるミュージアム論。
[国際文化学図書館開架室 706-9-K]
- 多様化する博物館 / 大塚和義著 放送大学教育振興会 1994
「多様化する博物館」「博物館の仕事」「現代社会と博物館」の3冊は旧課程期の教科書として編まれましたが、博物館の多様化と現代社会への対応を、現場から考察しており、現在でも十分通用する内容となっています
[自然科学系図書館3階放送大学 放送-699など]
- 博物館の仕事 / 大塚和義, 矢島國雄編著 放送大学教育振興会 1991
「多様化する博物館」「博物館の仕事」「現代社会と博物館」の3冊は旧課程期の教科書として編まれましたが、博物館の多様化と現代社会への対応を、現場から考察しており、現在でも十分通用する内容となっています
[自然科学系図書館3階放送大学 放送-485 など]

- 現代社会と博物館 / 大塚和義編著 放送大学教育振興会 1995
「多様化する博物館」「博物館の仕事」「現代社会と博物館」の3冊は旧課程期の教科書として編まれましたが、博物館の多様化と現代社会への対応を、現場から考察しており、現在でも十分通用する内容となっており、
[海事第1書庫 集密(放送大学) 37//3703]

博物館経営論

- 公立博物館をNPOに任せたら：市民・自治体・地域の連携 / 金山喜昭著 同成社 2012
公立博物館は、指定管理者制度の導入により、地方自治体以外のさまざまな団体が運営に携われるようになりました。千葉県野田市で公立博物館の再生を目指し、NPOによる運営を牽引してきた成果。
[他に 人文科学図書館開架室 069-6-KAN]
- 人間の発達と博物館学の課題：新時代の博物館経営と教育を考える / 鷹野光行, 青木豊, 並木美砂子編 同成社 2015
いま博物館にできることは何か。博物館と教育の関わりを軸に、教育や展示、運営、学史など、研究の現状から未来を展望する論文集。
[他に 人間科学図書館開架室 069.04-3]
- 入門ミュージアムの評価と改善：行政評価や来館者調査を戦略的に活かす / 村井良子編著；上山信一 [ほか] 著；東京都江戸東京博物館「博物館における評価と改善スキルアップ講座」実行委員会共編 ミュゼ 2002
博物館の運営では、評価(自己評価・外部評価)も重要になってきています。博物館で行われている施策が、地域社会にどれだけ効果を与えているのか。アンケートなどの来館者調査、行政による評価などを元に、博物館の活動改善に具体的に活かす方法を教えてください。類書に琵琶湖博物館の実践例である『施策としての博物館の実践的評価』雄山閣もあり。
[人文科学図書館KULiP(ラーニングコモンズ) 069-3-NYU]
- ミュージアムが都市を再生する：経営と評価の実践 / 上山信一, 稲葉郁子著 日本経済新聞社 2003
世界ではミュージアムに戦略投資する例が多く認められます。ミュージアムを集客装置ではなく、都市再生の触媒と考える立場から、都市におけるミュージアムの存在価値、共生と再生のための経営戦略を提示して
[他に 国際文化学図書館開架室 709-1-U]
- ミュージアム・マーケティング / フィリップ・コトラー, ニール・コトラー著；井関利明, 石田和晴訳 第一法規 2006
アメリカの諸事例から、ミュージアムの戦略づくりおよびマーケティングについての原理とコンセプトを体系的に示し、また実際にマーケティングにどう対応し、解決してかの事例を紹介しています。
[人文科学図書館KULiP(ラーニングコモンズ) 069-3-MYU]

博物館資料論

地域歴史遺産保全活用基礎論A・Bを参照のこと。

博物館教育論・活用

- 人文系博物館教育論 / 青木豊編 雄山閣 2014
博物館教育の目的と方法、学校教育や生涯学習との関係性について考え、教育史や理念に重点を置いて述べられています。
[人文科学図書館KULiP(ラーニングコモンズ) 069-0-ZIN]

- ハンズ・オン考：博物館教育認識論 / 小笠原喜康著 東京堂出版 2015
ハンズ・オンが博物館で定着しています。子供たちの自由な解釈を尊重する手法に対し、著者は社会の正しい知識を教えるためにモノに意味を吹き込むことこそ博物館の役割と主張。教育認識論として展開しています
[人文科学図書館KULiP(ラーニングコモンズ) 069-0-OGA]
- ひとが優しい博物館：ユニバーサル・ミュージアムの新展開 / 広瀬浩二郎編著 青弓社 2016
博物館の事例を元に、ユニバーサル社会のあり方を展望する。2015年シンポジウムの記録。
[人文科学図書館KULiP(ラーニングコモンズ) 069-04-HIT]
- 博物館教育論：新しい博物館教育を描きだす / 小笠原喜康, 並木美砂子, 矢島國雄編 ぎょうせい 2012
生涯学習が一般的となり、多様な教育活動が求められるようになった博物館。学芸員養成で必須の博物館教育論の講義に合わせた教科書的内容となっています。
[他に 人間科学図書館開架室(大型) 069.0-29A]
- 博物館の学びをつくりだす：その実践へのアドバイス / 小笠原喜康, チルドレンズ・ミュージアム研究会編著 ぎょうせい 2006
いまや展示、研究だけでは成り立たなくなっている博物館。教育普及活動を具体的に、なにをどうやればいいのか？ 各地の博物館等の豊富な事例を紹介し、学校と博物館の更なる連携を後押しします。
[人文科学図書館KULiP(ラーニングコモンズ) 069-0-HAK]
- モバイルミュージアム行動する博物館：21世紀の文化経済論 / 西野嘉章著 平凡社 2012
博物館をどのように運営し、資料をどう活用するかは、全国共通の課題です。東京大学総合研究博物館で取り組まれている活動を紹介する本書は、博物館資料を学外で積極的に活用する、モバイルミュージアムの理論と実践を分かり易く伝えています。
[他に 人間科学図書館開架室 069.0-25 など]
- 放課後博物館へようこそ：地域と市民を結ぶ博物館 / 浜口哲一著 地人書館 2000
市民がいつでも自由に展示室や研究室、収蔵庫に出入りし、自分の興味関心を満たす活動を行っていく。平塚市博物館の活動を中心に、博物館を「放課後」利用する楽しみを伝えてくれる本です。
[他に 人間科学図書館開架室(展示) 069.6-2]
- ミュージアムが社会を変える：文化による新しいコミュニティ創り / 福原義春編；かながわ国際交流財団編集協力 現代企画室 2015
ミュージアムはなぜ社会に必要とされるのか。これからの社会とミュージアムの役割をめぐる討論を記録し、新しいコミュニティづくりを考えます。
[人文科学図書館KULiP(ラーニングコモンズ) 706-9-HUK]
- 地域に生きるミュージアム：一〇〇人で語るミュージアムの未来II / 福原義春編 現代企画室 2013
地域文化の拠点として、ミュージアムはいかに生まれ変わらないとしないのか。博物館等に求められている役割、潜在的に持つ力を、現場に関わる100人が話し合い、探ります。
[人文科学図書館KULiP(ラーニングコモンズ) 069-0-TIK]
- 知覚を刺激するミュージアム：見て、触って、感じる博物館のつくりかた / 平井康之 [ほか] 著 学芸出版社
誰もがアクセスでき、楽しむことができるミュージアムを目指して、デザイン、IT技術、映像など、多様な方法で来館者の知覚に訴える、展示と鑑賞の最近の取り組みを紹介しています。
[他に 自然科学系図書館3F開架室 069-5-1など]

- 博物館教育の原理と活動：すべての人の学びのために / 駒見和夫著 学文社 2014

博物館は、さまざまな学びの場です。資料を教育活動に活用するのは、生涯学習時代の現在、当たり前となってきました。本書は博物館教育全体を俯瞰し、学校教育やユニバーサルサービスを中心に、博物館での教育活動について考察しています。類書に『だれもが学べる博物館へ 公教育の博物館学』も(学文社)。

[人文科学図書館KULiP(ラーニングcommons) 069-0-KOM]

- みんなで楽しむ新しい博物館のこころみ / 兵庫県立人と自然の博物館編；岩槻邦男 [ほか] 著 研成社
博物館は展示、というこれまでの殻をやぶって、積極的に地域社会と交流し、生涯学習活動を模索・展開する「ひととく」の活動を紹介します。

[他に 自然科学系図書館2F開架室 406-9-2]

- 子どもとミュージアム：学校で使えるミュージアム活用ガイド / 日本博物館協会編 ぎょうせい 2013
新しい教育課程では示された「生きる力」と関連付け、ミュージアムで育つ力を重視した、学校向けの活用ガイド。ミュージアムの教育利用のあり方、メリットなどを解説。

[人文科学図書館KULiP(ラーニングcommons) 375-1-KOD]

博物館展示論

- 博物館展示の理論と実践 / 里見親幸著 同成社 2014
長年、博物館展示の実務に当たってきた著者が、展示の理論はもとより、空間構成や動線、照明や保存技術にいたるまで、網羅的に解説。

[人文科学図書館KULiP(ラーニングcommons) 069-5-SAT]

- 変貌する美術館 / 加藤哲弘 [ほか] 編(現代美術館学2) 昭和堂 2001
美術館の新しい形は何か、近年国内外の展覧会で示された新しい視点や方向性に焦点を当てて紹介します。また、美術館に内や外からかかわる具体的な職種をとりあげています。

[他に 国際文化学図書館開架室 706-9-K など]

- 博物館展示論 / 黒沢浩編著 講談社 2014
資料は博物館に収蔵され、その後、展示されます。資料と密接に関わっている「展示論」を解説する本書は、資料論について補足的に理解するために欠かせません。

[他に 人間科学図書館開架室 069.5-7]

- 集客力を高める博物館展示論 / 青木豊著 雄山閣 2013
昨今の博物館では、集客効果を上げるのが至上命題化されています。本書では単なる客寄せではなく、より本質的に博物館の展示を改善し、市民の集まる場とするためのポイントを論じています。

[人文科学図書館KULiP(ラーニングcommons) 069-5-AOK]

- 博物館展示の研究 / 青木豊著 雄山閣 2012 新装版
博物館学の研究を続けてきた著者が、展示について概念、史的変遷、形態と分類、展示手法など、詳細に論じた展示論の研究書です。

[人文科学図書館KULiP(ラーニングcommons) 069-5-AOK]

- 美術館・博物館の展示：理論から実践まで / デビッド・ディーン著；山地秀俊, 山地有喜子訳 丸善出版
博物館に来た観衆が満足して帰るには、どんな展示が良いのか。展覧会の計画、デザイン、収集品の保管、テキストの作成など、理論から実務までを解説しています。

[人文科学図書館KULiP(ラーニングcommons) 069-5-DEA]

博物館情報・メディア論

- 博物館情報・メディア論 / 日本教育メディア学会編 ぎょうせい 2013
博物館でも情報発信やメディアの活用が求められています。情報とメディアの基礎理論から、展示手法、デジタルアーカイブス、ユニバーサル化など、網羅的に紹介する教科書。
[国際文化学図書館開架室 069-0-N など]

- 自然史博物館：「地域の自然」の情報拠点：科学系博物館活用ネットワーク推進事業報告集 / 環瀬戸内地域（中国・四国地方）自然史系博物館ネットワーク推進協議会編著 高陵社書店 2004
環瀬戸内地域自然史系博物館ネットワーク推進協議会の活動記録。博物館が伝える地域の自然とは何か、また友の会、学校との教材開発、情報化などの事例と課題。
[国際文化学図書館開架室 406-9-K など]

- 文化の「肖像」：ネットワーク型ミュージオロジーの試み / 吉田憲司著 岩波書店 2013
博物館の役割として、人びとが相互交流を重ねて新たな文化と社会を構築する装置としても見直されています。知を形成する装置、ネットワーク型のミュージオロジーの可能性を提示しています。
[国際文化学図書館開架室 069-0-Y]